



平成29年2月臨時会(第87回)

2月臨時市議会は2月13日に開催し、市長提出議案3件は、いずれも原案どおり可決及び承認しました。

平成29年3月定例会(第88回)

3月定例市議会は3月1日から22日までの22日間の会期で開催し、市長提出議案45件、議員提出議案1件は、いずれも原案どおり可決及び承認等しました。

主な掲載内容

- ・特別委員会委員長報告 P 2～P 3
- ・予算委員会委員長報告 P 4～P 5
- ・本会議で審議された議案等 P 6～P 9
- ・請願・陳情の審査結果等 P 8
- ・会派代表質問 P 9～P 11
- ・一般質問 P 12～P 14
- ・用語説明 P 14
- ・行政視察報告 P 15
- ・議会の動き、編集後記 P 16

特別委員会委員長報告

市庁舎等建設事業調査特別委員会報告

委員長 田淵 秀喜

本特別委員会は、平成25年1月23日の議員懇談会において、安来庁舎の現在地建て替えと、切川地区への市民会館の移転新築、並びに給食センターの新築計画が提案されたことを踏まえ、主要3事業の機能、基本構想・基本計画及び本事業に伴う財政見通しに関する事項と、切川地区開発計画について調査・検討を行うため、平成25年3月1日、第59回安来市議会定例会において設置されたところである。

これまで平成25年9月25日、第63回安来市議会定例会及び、平成26年6月18日、第68回安来市議会定例会並びに、平成27年12月17日、第81回安来市議会定例会において中間報告を行ってきたところである。

本特別委員会に付された主要案件においては、昨年4月には給食センターが供用開始、新安来庁舎及び総合文化ホールにおいては、本年5月には完成、竣工を迎えることとなっており、本特別委員会として一定の

役割は果たし得たものと考えている。今般の報告においては、一昨年の中間報告後の状況、課題、チェック機能等について、報告並びに発展的な意見を申し述べ、市庁舎等建設事業調査特別委員会としての最終報告とするものである。

新安来庁舎については、工事が順調に進み庁舎の姿が見えてきているところであるが、新庁舎周辺エリアの防災公園整備計画については、概要説明を受けた際に、中海の洪水浸水想定区域内に防災公園を整備することについて疑問視する委員が多かったが、執行部からは地震等の災害時の一時避難場所を想定し有効活用する目的である旨の提案を受け、水害への対応も検討することで本特別委員会も了承したところである。

また、新安来庁舎の備品については、本議会で既に購入契約を議決しているところであるが、現有備品調査により転用品を精査したことで、

購入額が当初の購入計画枠の2億円以内に収まり、また新庁舎への引越し作業は、7月29日と30日の土・日を中心に、市民サービスに支障が無いよう計画されているとの報告を受けているところである。

本体工事についても本年5月末の完成に向け、概ね計画通りに進捗している旨の説明があつているが、基本構想でも示されたとおり、新安来庁舎及び周辺エリアは中心市街地活性化のためのシンボルであると同時に、「クラスト型コンパクトシティ」(※1)のネットワーク拠点でもあると考える。

7月20日の竣工式、22日、23日の内覧会を経て、7月31日に開庁予定であるこの新庁舎が、現在地に建設



建設中の新安来庁舎

された意義を今一度踏まえ、市民に親しみを持っていただける癒しの空間となるように、本特別委員会からの意見が十分に反映されるものと大いに期待するものである。

総合文化ホール「アルテピア」は、本年5月末完成、9月のオープンに向け建設工事も大詰めを迎え、こちらも概ね計画通りに進捗している旨の説明があつている。

昨年6月の本議会において、「指定管理者の指定について」並びに「グランドピアノの取得について」の2件の議案が上程され、指定管理者は有限会社アクティブ・プロ・株式会社 JTB 中国四国 IC 事業部 共同事業体が、グランドピアノはドイツ製のスタインウェイピアノ購入が決定した。また、本年2月の臨時会及び本議会の中で、舞台、照明、音響、事務機器等の備品購入も決定しており、その都度、本特別委員会においても十分に議論を重ねてきた。

指定管理者の指定に伴い、開館準備が順次進められる中、本年1月には各地域での施設利用に関する4回の事前説明会を経て、2月1日より施設の利用予約受けが開始された。周辺や館内での飲食施設の充実及び市南部からの誘導サイン設置等、若干の課題はあるものの、オープンに



建設中の総合文化ホール「アルテピア」

に向けた準備が進められている。9月9日の開館記念式典を皮切りに市主催開館記念事業として松竹大歌舞伎NHK公開番組やピアノコンサートなど様々な事業が予定されている。また、住民主体型の取組みとして「市民でつくる開館記念事業」など企画されている。

安来市総合計画(※2)にある「人が集い未来を拓く ものづくりと文化のまち」を創造する市民交流の場として、また愛称のごとく文化芸術活動の理想郷として、総合文化ホールは市民のシンボルの施設であり、安来らしく、かつ先進的な事業運営がなされるように期待しているところである。

給食センター「ハッピークック」

は昨年4月より稼動し、市内4中学

校1幼稚園を対象とした1,200食を配食している。現状では特に大きな事故や問題も無く、本年1月末から2月上旬にかけての2度にわたる積雪時にも、予定通りの配食を無事終えているとの報告を受けている。

今後自校方式からの移行計画に基づき、平成30年度には2,700食、平成34年度には3,300食へと推移する中で、管理運営、食材発注と納入、献立関係等について関係組織とも随時連携を図りながら、食育計画や地産地消を活かした食材調達を通じて、子供たちが安心・安全な食生活を育むことを望み、併せて食糧自給率の向上と地場産業の発展に繋がることを期待する。

切川バイパスについては、切川開発計画が方針転換となったことにより、島根県においては緊急性がなくなつたとの判断に至り、工事の凍結となつた。ことの重大性を認識する中で、提案された切川地区への給食センターと市民会館の建設を、バイパス事業の早期再開、早期開通のために、市議会としても認めてきた経過がある。

開通時期や進捗状況について、前回の本特別委員会中間報告時点と大きな進展は無いが、総合文化ホール及び給食センター東側道路は本年4

月には供用開始予定、そこからJRアンダーパス(※3)区間を含めた旧国道までの間は本年秋から工事着手の予定、旧国道から国道9号線までの街路事業及び、大橋東飯島線と市道安来荒島線の接道を含めて、全ての供用開始予定が平成36年度中の目標であるとの説明を受けている。

本特別委員会の中で、総合文化ホールオープン効果以降の集客減を最小限に食い止めるために、更には新たな開発や整備が期待されるエリアの幹線道路であり、物流や渋滞の緩和など安来市の産業振興や市民生活への影響をはじめ、諸施策や今後の市政の発展にも影響しかねない最重要施策であるため、1年でも早い全線供用開始を強く求めた。しかし、島根県からは用地買収などの不確定要素やJRアンダーパス工事、水路工事等の付帯工事などの関係を理由に、明確な回答を得ることができなかつたことは残念であるが、供用開始に向け少しずつ前進していると受け止め、市長を中心に安来市として最大限の努力を図られんことを強く要請するものである。

財政見直しについては、総合文化ホール建設事業と新安来庁舎建設事業などの影響で、平成29年度の予算規模も26億円台となる中期財政計画(※4)が、昨年12月2日の議員懇談

会で示され、經常収支比率(※5)も財政の硬直化と言われる100%に限りなく近い数値となり、平成33年度にはそれを超える状況となっていることから、今後の財政運営が非常に危機的な状況であると言える。このままでは、財政調整基金(※6)も近い将来枯渇することも懸念されることから、公共施設等総合管理計画(※7)や第3次行財政改革大綱(※8)との整合性を図りながら、一般財源(※9)を充当する多くの事業を見直し、安来市財政全体への影響を最小限に抑えるよう、市長以下、職員の一層の努力をお願いすることを申し添えるとともに、健全な財政運営を求めらる。

主要3事業は、1事業が既に運営開始し、他の2事業も完成を間近に控えている状況にあり、管理運営を含めた一定の方向性も確認できたと考えているところである。従って、今後は主要3事業の関係を各常任委員会へと委ね、必要に応じた形で調査及び検討を進められることにより、議会としてのチェック機能を十分果たせるものと確信するものである。

以上、市庁舎等建設事業調査特別委員会の最終報告とすると共に、発展的解散を議長に申し入れ、委員長報告といたします。

常任委員会委員長報告

予算委員長報告

委員長 田 淵 秀 喜

去る3月1日に開議されました本会議において、本委員会に付託されました「議第24号 平成29年度安来市一般会計予算」については、その

審査の経過の中で3月21日の本会議で撤回となり、同日の本会議でその修正を含む「議第42号 平成29年度安来市一般会計予算」が本委員会に付託されたので、その審査の経過と結果を報告いたします。

一般会計の当初予算総額は、対前年度14億3千万円減の277億7千万円との案が示されたが、今後の財政運営が更に厳しさを増すことは明らかであり、事業の必要性や効果、優先順位等の検証が必要であること等を委員全員が認識するため、前段で開催される各常任委員会において、所管する予算の特徴的などころを十分に議論していただいたうえで、予算委員会審査日程を3月15日からの2日間としました。

なお、3月21日の本会議で執行部より提出された、「議第42号 平成29年度安来市一般会計予算」が本委

員会へ付託されたため、同日に本委員会を開催し、修正部分の歳入歳出を一括して審査を行いました。

審査の経過について報告いたします。

主なところで委員からは、「普通交付税の確保の見通し、負担金並びに使用料の減額理由、繰入金(※10)の増額理由。」の確認があり、「普通交付税の確保は国から明示が無い段階なので推測である。負担金について、ふたば保育園等が認定こども園に移行した関係で費目が変わったことが大きい。繰入金については特に財政調整基金の取崩し額が大きくなっているが、決算後の剰余金によって減額の可能性がある。」との答弁がありました。また、委員から今後の基金残高シミュレーションについて自作資料を用いながら、「今後、基金を取崩さない財政運営の基本的な方針を示してほしい。」との意見に対し、「執行部も同様な危機感を抱いている。今後は市財政の現状を踏まえ、様々な事業精査をしながら、

今年の12月ごろに示めす予定としている、中期財政計画が今後の基本的な方針となる。」との答弁でした。更に、「市長と議会との考え方が乖離しすぎており、議会側は行財政運営について心配をして様々な意見を述べてきていることを理解して欲しい。」との意見もありました。

次に、歳出についてであります。

(総務企画関連)の主なところで委員からは、「証明書コンビニ交付事業で、僅かな利用実態にも拘らず多額の予算を投じるべきではない。」との意見に対して、「国の推進事業であり、休日や夜間利用など利便性も高く、全国的にも事業実施自治体が増加傾向にある。」との答弁でした。また、「伯太庁舎に上下水道部2課を配置することについて、3庁舎全体の配置を再度見直すことで、駐車場整備を含めたこの予算は減額できるはず。」との意見に対し、「この再配置事業は、当初から議会へも説明しており、白紙に戻す考えは無いが、今後の全体再配置計画は効率化と財政状況を考慮し検討したい。」との答弁でした。

(文教福祉関連)の主なところで委員からは、「可燃ごみの市外業者への処理委託について、10年以上継続しており税収面から考えても、これだけの一般財源を域内循環させる考えは無いのか。」との質問に対し、「市内民間企業で、対応できる状況が整えば、今の財政状況からも当然

検討したい。」との答弁でした。また、「病院事業への負担金を、年度途中で修正予算を見込んでいるなら、今年度並みの5億7千万円まで落とすべきだ。」との意見に対し、「平成29年度より新病院改革プランをスタートさせるに当たり、極力一時借入金を抑え、資金不足比率を10%以下としたい。」との答弁でした。また、「低床路線バスの購入事業について、特に中産間地域での運行は道路整備状況にも影響されると考えるが。」

の質問には、「特定のバスが特定の地域のみを運行する状況ではないが、委託業者とも協議し今後対策を講じる。」との答弁でした。また、「放課後児童健全育成事業について、各運営委員会での支援員確保が困難な状況と聞いているが、市としての支援体制や予算化は出来ないのか。」との問いに対し、「各運営委員会の実情を踏まえ、協議をしながら支援をしている。」との答弁でした。また、「史跡富田城整備事業について、これだけ大きな事業を計画するに当たり、入場者数の把握や目標値の設定をしてないのか。」との問いに対し、「今後の整備の中で来場者を把握できる状況とし、併せて目標値の設定も検討する。」との答弁でした。また、「市立ひろせ図書館整備について、市長の考えは建設を前提とした設計調査費なのか。」との問いに対し、「建設時期はまだ明確にしているが、私の選挙公約の一つとして、

クラスター型コンパクトシティの拠点と地域文化の伝承のため必要と考える。」との答弁でした。なお、「放課後児童健全育成事業について、各運営委員会への委託料の支払いだけでなく、支援員確保へのバックアップや市の支援体制強化を望む。」との要望もあっております。

(地域振興関連)の主なところで委員からは、農業委員会の新制度での「募集段階で委員定数を下回った場合の基本的な考え。」や、「農業委員の女性枠。」などの確認の他、「地域おこし協力隊の任期後の定任対策」、「サルボウガイの養殖施設整備事業の助成範囲及び規模。」についての質問に対して、「協力隊員の定住は関係機関と地域住民が一体となって働きかけ、既に確定している隊員もいる。」、「養殖施設整備は、70万円を上限とした助成制度であり、その他にも農業サポーター制度の活用による支援も想定している。」との答弁でした。また、「除雪車整備事業の除雪車両の更新基準及び未使用時の保管状況。」の確認の他、「安来港飯島線道路改良事業について、切川バイパスも早期供用開始に向けて要望しており、同時供用を願う。」との要望もありました。また、「中海ふれあい公園の管理費及び管理計画。」の確認もあつたところです。

委員会採決を行うにあたっては、

採決の前段で総括質疑を設けることとしました。その中で各委員からは、「今後の自主財源確保についての考え。」との質問に対し、「手数料等の見直しをはじめ、人口対策、企業誘致、住宅団地の販売促進等を積極的に進める。」との答弁でした。更には、「今回示された当初予算は、一般財源を充当する事業を更に削減する必要があり、賛成しかねる。」また、「執行部の現状把握と財政運営に対する本気度が感じられず、やはり市長が直接今の財政は危機的な状況であると言っていただけな限り、この当初予算には賛成しかねる。」また、「見直すべき事業、緊急性の無い事業を本気で精査し直さない限り、この当初予算の全てには賛成できない。」などの他にも同様の意思表示が多く出されました。これを受け、執行部よりこの当初予算について、もう暫らく検討させていただきたいとの申出があつたため、3月16日の予算委員会は一旦、閉会としました。

そして、3月21日の本会議において「議第24号 平成29年度安来市一般会計予算」は撤回され、一部を修正した「議第42号 平成29年度安来市一般会計予算」が上程され、本委員会へ付託されたことを受け、本会議終了後に予算委員会を開催しました。

「議第24号」から、歳入歳出それぞれ1億7千万円を減額した予算総額276億円の案が示され、更に中期財政計画につきましては、ゼロベースから見直しを行い、歳入に見合った予算規模に圧縮しながら、中長期的に安定した財政運営を行うとの提案もありました。

委員からは、「市立ひろせ図書館整備計画事業を取り下げた理由。」との質問に対して、「事業の緊急性と、公共施設等総合管理計画の中で広瀬地区の他の施設と併せて検討すべき。」との答弁でした。また、「病院事業会計への負担金で、新病院改革プランは議会でも一定の理解を得ていながら、何故減額するのか。補正対応の考えがあるのではないか。」との質問に対して、「昨年末から入院患者数が増加傾向にあること、今後の経営改善に対する期待も含めて、できる限り補正対応をせず済むよう経営努力に努めたい。」との答弁でした。また、「この減額修正した金額に対しては納得いくものではないが、今後の安定した財政運営を期待したい。」との意見や、「今後の中期財政計画見直しのスピードアップを図り、新年度予算編成に当たり整合性が取れるよう要請したい。また、議会のチェック機能として行財政運営に関わる特別委員会を是非設置していただきたい。」との強い要望がありました。

なお、委員会採決の前に、提出議案に対する委員の意思を確認する中で、一部の委員からありました異議、反対である旨の発言を踏まえ、起立による採決を行った結果、賛成多数により「議第42号 平成29年度安来市一般会計予算」は、執行部原案の通り可決すべきものと決しました。

人口減少や高齢化の進展による地域社会の疲弊など、本市を取り巻く環境は、今後一層厳しさを増すことが想定されるうえに、市財政も危機的な状況を迎えています。

長年の懸案であつた三大事業も一定の目的がつき、平成29年度は「公共施設等総合管理計画」も動き出す年度となります。

本委員会の議論の中でも財政面や財源に対して、多くの委員から不安視する声がありました。が、今後は基金運用も含め、可能な限りの事業費縮減に努めると共に、将来世代に対し禍根が残らない健全財政の継承が現役世代の責務と考えています。

執行部におかれましては、全職員一丸となった連携体制のもと、緊張感と目標達成への執念を持った事業推進を要請するとともに、決定機関である議会への丁寧な説明、議論を通じ、計画的かつ適正な予算執行をお願いすることを申し添え、委員長報告いたします。

決 果 等

議案番号	三島静夫	向田 聡	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	作野幸憲	樋野智之	原田貴与子	田淵秀喜	石倉刻夷	岩田拓郎	永田巳好	金山満輝	嶋田豊昭	井上峯雄	佐伯直行	中島隆夫	上廻芳和	遠藤 孝	梅林 守	田中武夫
------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第6号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第7号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第8号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第16号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第17号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第18号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第24号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第25号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第26号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第27号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第33号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第34号	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成…○、反対…●、欠席…欠、除斥…斥、退席…退
 議員定数21人 議長は採決に加わらない

議案番号	件 名	議決結果	賛 成	反 対
------	-----	------	--------	--------

平成29年2月臨時会

【市長提出議案】

議第1号	安来市総合文化ホール備品等（舞台）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第2号	安来市総合文化ホール備品等（照明）購入契約の締結について	原案可決	19	0
承第1号	平成28年度安来市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	承認	19	0

平成29年3月定例会

【市長提出議案】

議第3号	安来市過疎対策事業債等償還基金条例制定について	原案可決	19	0
議第4号	安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第5号	安来市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第6号	安来市立保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17	2
議第7号	安来市立赤江保育所の指定管理者の指定の議決の一部変更について	原案可決	17	2
議第8号	財産の無償譲渡について	原案可決	17	2
議第9号	安来市就農者定住促進賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第10号	安来市執行機関である委員会の委員並びに委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第11号	安来市単独住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第12号	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	19	0
議第13号	市道路線の廃止について	原案可決	19	0
議第14号	市道路線の認定について	原案可決	19	0
議第15号	平成28年度安来市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	19	0
議第16号	平成28年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	17	2
議第17号	平成28年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	17	2
議第18号	平成28年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	17	2
議第19号	平成28年度安来市電気事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	19	0
議第20号	平成28年度安来市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	19	0
議第21号	平成28年度安来市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	19	0
議第22号	平成28年度安来市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決	19	0
議第23号	平成28年度安来市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	19	0
議第24号	平成29年度安来市一般会計予算	撤回	17	2
議第25号	平成29年度安来市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	17	2
議第26号	平成29年度安来市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	17	2
議第27号	平成29年度安来市介護保険事業特別会計予算	原案可決	17	2
議第28号	平成29年度安来市電気事業特別会計予算	原案可決	19	0
議第29号	平成29年度安来市下水道事業特別会計予算	原案可決	19	0
議第30号	平成29年度母里財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第31号	平成29年度井尻財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第32号	平成29年度赤屋財産区特別会計予算	原案可決	19	0
議第33号	平成29年度安来市水道事業会計予算	原案可決	17	2
議第34号	平成29年度安来市病院事業会計予算	原案可決	17	2
議第35号	安来庁舎備品等（事務用デスク・イス、カウンター類）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第36号	安来庁舎備品等（収納・棚類）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第37号	安来庁舎備品等（会議室テーブル・イス、家具類他）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第38号	安来市総合文化ホール備品等（音響）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第39号	安来市総合文化ホール備品等（事務機器等）購入契約の締結について	原案可決	19	0
議第40号	安来市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0

決 果 等

議案番号	三島静夫	向田 聡	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	作野幸憲	樋野智之	原田貴与子	田淵秀喜	石倉刻夷	岩田拓郎	永田巳好	金山満輝	嶋田豊昭	井上峯雄	佐伯直行	中島隆夫	上廻芳和	遠藤 孝	梅林 守	田中武夫
------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

議第 41 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長
議第 42 号	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 43 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第 44 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承第 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議第 45 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

請願第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	斥	欠	○	○	○	○	○	○	斥	○	斥	議長
陳情第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成…○、反対…●、欠席…欠、除斥…斥、退席…退
 議員定数21人 議長は採決に加わらない
 請願第1号については、不採択とする委員長の報告に対して賛成の議員を○とし、それ以外を●としている

請願・陳情の審査結果（第88回定例市議会）

番 号	件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
請願第 1 号	土居成用地の公有化について	広瀬町文化協会 会長 池田 義夫 他 1 名	文教福祉	不 採 択
陳情第 1 号	安来第一病院施設整備費の助成に関する陳情	社会医療法人 昌林会 理事長 杉原 建	総務企画	採 択

継続審査となっていた陳情の審査結果

番 号	件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
請願第 1 号	市道新町 3 号線整備に関する請願	新町区自治会 会長 竹澤 恭彦 他 3 名	地域振興	取り下げ

平成29年 3 月 第88回定例市議会

— 本会議で審議された議案等 —

【市長提出議案】

◎同意案件

- ・同第 1 号 赤屋財産区管理会財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて

行財政改革推進特別委員会の設置について

3月22日の本会議で、本市の行財政改革に関する事項について調査研究を進め市に対して必要な意見又は提言を行うとともに、行財政改革の進展状況を逐次監視、検証するため、行財政改革推進特別委員会を設置しました。

議案番号	件 名	議決結果	賛 成	反 対
------	-----	------	-----	-----

平成29年3月定例会

【市長提出議案】

議第41号	平成28年度安来市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	19	0
議第42号	平成29年度安来市一般会計予算	原案可決	15	4
議第43号	安来市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19	0
議第44号	安来市立病院事業管理者の給与条例の特例に関する条例制定について	原案可決	19	0
承第2号	安来市水道事業等に従事する職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認を求めることについて	承認	19	0
承第3号	安来市立病院の職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認を求めることについて	承認	19	0

【議員等提出議案】

議第45号	特別委員会の設置について	原案可決	19	0
-------	--------------	------	----	---

【請願・陳情】

請願第1号	土居成用地の公有化について	不採択	16	0
陳情第1号	安来第一病院施設整備費の助成に関する陳情	採 択	19	0

平成29年3月定例会

会派代表質問

質問 原子力安全協定の締結について
設置自治体並みの扱いに対する協議継続を求める考えと、この度の交付金の見直しがあるか。

答弁 安来市、出雲市、雲南市が連

質問 平成29年度予算について
先順位を検証した上で、統廃合等をした事業があるか、基金残高を精査した予算編成になっているか伺う。

答弁 事業の検証は全事業を行い、廃止は4事業。見直しや周知期間の関係等で、平成30年度以降で見直しや廃止等を行う、4事業1億9,000万円余。基金は、財政調整基金のほか、目的に応じた事業の財源として充当をしている。

質問 総合文化ホール（アルテピア）の開館記念事業への取組について

答弁 アルテピアの開館記念事業への取り組みについて。
9月9日午前中に開館記念式典、午後から11日まで、一般開放施設見学会の予定。9月18日にこけら落とし公演として、松竹大歌舞伎公演予定。11月19日和太鼓グループ、DRUM TAO公演、12月10日にはNHKのど



燦友会
石倉 刻夷
議員

平成29年3月定例会

会派代表質問・一般質問

3月3日から7日にかけて、会派代表質問3人、一般質問10人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

質問 公共施設等総合管理計画について
計画をどのように推進しているか。

自慢の開催が決定している。(紙面の都合で他の催し等は割愛)

観光案内看板等の管理について

質問 老朽化した看板の改修、改築について。

答弁 観光案内サインガイドラインに沿い、多言語化やユニバーサルデザインなど、国際化の対応を含め、予算の範囲内で更新をする。

堀尾吉晴共同研究会と安来市の方針について

質問 共同研究会の考え方と姉妹都市交流についての市長の考えを伺う。

答弁 松江市、大町町、安来市で吉晴公の生涯について共同研究し、資料の歴史的、文化的価値の向上を図り、さらに、関係市町の観光、交流、情報発信につなげ、姉妹都市縁組についても検討していきたいと考える。

道の駅について

質問 閉館中の「広瀬富田城道の駅」再開についての考えを伺う。

答弁 月山富田城整備に合わせ、レストランや物販の充実に向け、検討に入っている。

空き家対策について

質問 空家等対策協議会を設置し、対策計画を策定する考えだが、その方法等を伺う。

答弁 市全域を対象とし、空き家の

活用及び危険な状態を観点に、現地に現地調査の予定。目標は、所有者等による空き家の適正管理、活用、または除却による管理不全な空き家の減少を推進すること。市民の皆様へも、周辺地域にもたらず諸問題について、意識の涵養と理解の増進を図りたい。

除雪並びに雪害対策について

質問 今冬の市民からの除雪対策要望と雪害状況対策について伺う。

答弁 平野部での除雪業務、歩道を含めた通学路の除雪、街部及び住宅密集地の除雪対策があり、広瀬土木事業所とも協力し、迂回ルートの確保、委託団体内での応援体制を含め対応したが、今後も体制を検討したい。歩道は、可能な限り対応した。住宅密集地の除雪は、苦情が多々あることから、対応に苦慮している。

中山間地域対策について

質問 新年度予算で中山間地域に特化した内容、また国等の施策の情報について。

答弁 中山間地域等直接支払制度事業、中山間地域総合整備事業の事業採択に向けた調査事業、地域おこし協力隊事業等、国の施策は、水田活用直接支払交付金事業、農山漁村振興交付金事業、中山間地農業ルネッサンス事業がある。県は、島根型6次産業推進事業や、がんばる地域応援総合事業がある。



青雲 直行
佐伯 議員

新年度予算の編成方針と近藤市政の任期中の予算編成の展望について

質問 新年度予算をどのように予算組みをなされたのか、また市長任期中の今後の予算編成方針を伺う。

答弁 平成29年度の予算編成については、第2次安来市総合計画の将来像の実現に向けた施策及び安来市総合戦略による人口減少対策への取り組みを重点的かつ着実に推進することとし、中期財政計画を踏まえ、所要の経費について予算措置を行っている。また、財政計画が厳しさを増す中、多様化する市民ニーズを的確に把握し、事業の成果や優先順位を検証し、類似事業の統合、必要性の低い事業の廃止などの見直しを図り、緊急性、必要性の高い事業を選択した。

今後の財政運営については、第3次行政改革大綱、同実施計画で位置づけた取り組みを確実に実施することで、歳出の抑制化を図る。

また、本年度策定した公共施設等総合管理計画の着実な推進により、安来市が将来にわたって負担しなければならぬ公共施設の維持管理経費の削減を図り、将来に向けて安定した財政運営ができるよう努める。

そして、安来市総合戦略の基本目標に即した事業を引き続き実施する。

安来市立病院新改革プランについて

質問 安来市立病院は、ここ二、三年、急に経営が悪化している。その原因はどこにあると思われるのか、またどのように分析し、これに対応しようと思われるのか。

答弁 新改革プラン策定に当たり、経営悪化の原因を分析したところ、経営が悪化した主な原因は入院患者数の減少であると考えられる。特に平成24年度以降、内科での入院患者数が減少している。その理由としては、長年本院で勤務し、専門外であっても総合的な診療ができた医師の定年退職が続いたことや、本院のような中小病院においては、必要な総合診療の可能な常勤医師を確保できなかったことが考えられる。

また、医業収益に対する給与費の割合が高いことも大きな要因である。これは、収益が減少する一方で、外来、入院数の減少にかかわらず、病棟種別数に比べて、それぞれの施設基準を満たすために一定の職員数を配置しなければならぬことが影響していると考えられる。そのためにも、本プランでの対応として、地域医療構想を踏まえた上で、病床再編や医師確保、経営の

安定化に重点を置いた取り組みを行うこととしている。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の今後の展望について。

答弁 ふるさと納税は、市のプロモーション、市の特産品の新しい販路及び市財政の新たな財源となるメリットがある。安来市においても、今年度力ニやお米の定期便を追加したことや、地域がブランド化を進めるお米を返礼品としたことから、大きく寄附額、寄附件数が伸びているので、国の通知に沿って、今後も肅々と事業を進める。

安来市総合戦略について

質問 人口減少対策の5力年計画である安来市総合戦略の進捗状況と展望について。

答弁 総合戦略は、平成27年度から平成31年度までの5力年の計画となっている。平成27年度については、内部外部の検証を経て、9月議会において報告した。平成28年度について、現在見込みとして集約を行っている最中である。平成27年度同様、9月議会において報告をする。

検証でのKPI(※11)を踏まえ、中途見直しについては、総合戦略ではPDCAサイクル(※12)で見直しすることを前提とした計画であり、進捗状況を踏まえた上で、必要に応じて見直しを行うことになる。

総合戦略関連での国・県の今後の動向と安来市としての見解について

質問 国や県の新年度予算に合わせた今後の動きを伺う。

答弁 国は、地方創生関連予算として、今年度創設した地方創生推進交付金を平成29年度も確保するとともに、総合戦略等を踏まえた個別施策、地方財政計画にまち・ひと・しごと創生事業費の計上など、さまざまな対策を予定している。国は豊富な予算を配置する一方、地方には一部負担や高い経済的自立性を求めているものも数多く存在するため、活用については検討が必要と考えている。島根県においても、関連予算を前年度より増額しています。地方創生推進交付金を初め、県と県下(市町村)によるワーキング(※13)が定期的に開催されており、情報共有に努めるとともに、国が強く求める自治体間連携において県との連携を模索する。



市民クラブ
澤田 秀夫
議員

第2次総合計画に基づく市政運営について

質問 放課後児童クラブに対する市

の考えと支援体制について。

答弁 平成32年度から各児童クラブ

に放課後児童支援員の資格を取得した者を置かなければならなくなり、放課後児童支援員の確保が課題となっている。市としても島根県が実施する放課後児童支援員資格取得研修の日程や場所、回数、各児童クラブが受講しやすい時期になるよう島根県に要望している。今後もこの研修に積極的に受講していただくよう各児童クラブに働きかけをしながら、平成31年度までに全クラブに支援員が配置されるよう努めていきたい。

質問 工業団地造成後の財政シミュレーションについて。

答弁 工業団地分譲地の土地単価を安来インター工業団地並みと設定し、分譲面積を5.5ヘクタールとした場合、土地売却額が約7億5,000万円となる。固定資産税については、島根県の企業立地認定を受けた23社の立地計画を参考に、建物及び償却資産の評価額を算出し、5区画に毎年2社ずつ新設される想定で試算をすると、一番多いと見込まれる3年目の固定資産税が約8,600万円となる。20年間の累計額では約12億4,800万円と試算している。法人市民税や新たに雇用される従業員の個人の市民税、固定資産税などを含めるとそれ以上の税収効果が期待される。

平成29年度当初予算案について

質問 事業の統廃合の実績と今後の方向性について。

答弁 事業の検証については全ての事業で行っている。効果の低い事業などの廃止は、4事業約240万円になる。また基金充当事業も含め、事業内容の見直しや周知期間等の関係上、平成30年度以降で見直し及び廃止を行うものが4事業1億9,000万円余になる。

今後も物件費や補助費など、経常経費の削減、事業の取捨選択、新たな財源の確保など創意工夫を行いながら、健全な市政運営に努めていく。

質問 第3次行政改革大綱で示した内容と現状の予算編成の整合性について。

答弁 予算編成方針において第3次行政改革大綱にある取り組みを進めることにしている。各特別会計の繰出金については、それぞれ定められた繰り出し基準に基づき予算措置を行うことで相対的に抑制を図っているが、国民健康保険や後期高齢者医療、介護保険など、医療費やサービス給付の増が直接影響する事業については、少し難しい部分があると考えている。今後も独立採算を基本とした経費の削減、使用料や料金体系の適正化に努めていく考えである。

嶋田 豊昭 議員

一括方式

1. 市政運営について
2. 地方創生総合戦略の取組について
3. 地域包括支援センターの体制整備について
4. マイナンバーカードの状況について



質問 合併10年経過後 5年間で段階的に地方交付税が削減されるがいくら見込んでいるのか。

答弁 合併算定替えの段階的縮減も3年目となり、縮減の緩和率も0.5となる。平成29年度は3億1,500万円程度と試算している。

質問 安来市は合併してから前市長が1期、近藤市長が3期目に入られ、いよいよ将来を固める時期にある。地方交付税が削減されて行く中で、財政の健全化を基本にした市政運営の基本的な考えを問う。

答弁 8年前に当選して以来、財政再建を第一に掲げ公債費の削減、積立金60数億円積み増し、病院会計の債務減少など財政再建に努めた。今、地方財政は大変厳しい状況にあることを真摯に受け止め、これからさらに健全化に向けた。

樋野 智之 議員

一括方式

1. 公共施設等総合管理計画及び個別行動計画について
2. 広瀬の街づくりについて
 - ①図書館を含めた街中の老朽化施設対策は
3. 街づくりの視点から人口対策について
4. 街づくりの視点から地域の担い手としての雇用の場の確保について
 - ①地域の担い手としての建設業界の安定した雇用確保等のための支援策は



質問 地域別の施設数・人口1人当たりの床面積及び老朽化施設の状況は。

答弁 【安来】245棟、1人当たり5.77㎡、【伯太】145棟、1人当たり11.543㎡、【広瀬】153棟、1人当たり11.66㎡。人口1人当たりの老朽化施設面積は、市全体で3.02㎡。

質問 公共施設25%削減の根拠は。

答弁 現在の施設を全て保有維持した場合、今後30年で修繕等653億円必要。約111億円の予算不足が生じる。

原田貴与子 議員

一問一答方式

1. 幼児教育・保育施策について
2. 島根原子力発電所に係る安全協定締結と重大事故について



質問 保育現場の正規職員の占める割合は。臨時職員の処遇改善はどうか。

答弁 正規は57名で58%である。平成28年度から臨時職員賃金を改善した。また、感染症による特別休暇を設けた。

質問 産休明けで離職中の親が希望した場合、上の子の保育の継続を認めたらどうか。

答弁 家庭での保育をお願いしている。一時預かり事業を利用してほしい。

質問 宍道断層が大地震を起こす恐れがある。原発の過酷事故時の放射性物質は、風向き、風速、地形で変わる。放射線量が高かった飯館村は40km地点だった。放射性物質が人体、環境に与える影響を市民に周知を。原発の再稼働は認めるべきではない。

答弁 アトムの広場(※14)を配布、避難訓練をしている。

田淵 秀喜 議員

一問一答方式

1. 市政運営について
2. 市立病院改革について



質問 財政運営について、議会に示された中期財政計画と基金残高に大きな開きがある中で、平成29年度当初予算は新規、拡充事業も含め大型予算となっており、将来に亘り健全な財政運営が担保出来ない状況ではないか。

答弁 予算と決算の関係上どうしても差異が出てくるが、精度を高めるよう精査していく。基金運用も含め、事業の優先順位、重要性の精査を進めて行く。

質問 新改革プランについて、設置者(市長)として果たすべき役割と責任をどう考えるのか。

答弁 市立病院改革は大変重いものと受けとめており、厳しい経営状況も踏まえ主導的に方向を打ち出し、民間病院等も含めた喫緊の課題である地域医療体制、経営健全化に向けた取り組みについて早急に検討していく。

作野 幸憲 議員

一問一答方式

1. 行財政改革の強化について
2. 農業特区と農業ICTについて
3. ケーブルテレビと街づくりについて



質問 市長は以前と同様に「財政は厳しいが健全だ」とまだ言われるのか。

答弁 大いに私は健全化をしてきたと、こういうふうに思っている。

質問 農業ICT(※15)に向け、市として人的支援などによって推進する考えはないか。

答弁 今後どういった支援ができるのか、人材の支援も含め、関係機関と協議検討したいと考えている。

質問 安来では視聴できないキー局、テレビ東京系列がある。市としても何らかの方法で働きかけができないか？

答弁 市では昨年11月、山陰ケーブルテレビに対しテレビせとうちの放送実施を求める要望書を提出するとともに、本年2月にはテレビせとうちを訪問し、本市の状況について説明をしてきたところである。

丸山 征司 議員

一問一答方式

1. 産業振興（農林水産、商業、観光）について



質問 新生児や3歳児や小学入学時等、市産材を加工したおもちゃやパズル等を贈呈、若しくは市内認定こども園や小学校等に常備させ、ウッドスタートとして木育を推進するのが良いと思うが、市の見解を伺う。

答弁 現在市内小学校では、森林教育（環境教育）の一環として、緑の募金事業により、南小では、ふれあい森林教室が毎年実施されている。赤屋小や布部小では、自然環境学習として、間伐や竹の伐採等の森林活性化活動が行われている一方で、山佐小では特用林産物振興の観点から、シイタケの種菌体験が実施されている。今後もこのような木材触れ合いの機会を通して、森林の大切さを学び、理解する為の活動として推進していく為、ウッドスタートも含め、教育委員会、子ども未来課等の関係課と協議を行っていききたい。

三島 静夫 議員

一問一答方式

1. 教育対策について



質問 ICT(※16)関連の産業や職業は未知数と言われるほど発展の可能性があるが、教育現場におけるICT等の教材の活用についての考えは。

答弁 ICT機材を用いた授業では生徒の学習意欲も高く、今後も積極的に取り入れたいと思っている。

質問 キャリア教育の礎となる、ふるさと教育をどのように推し進められる考えか伺う。

答弁 学校と地域の連携を深めながら、就学前から小・中学校まで一貫したふるさと教育を行いたいと思っている。

質問 就学前教育は、子どもの主体性や学力に大きく関わるが、どの様に取り組んでいかれるのか伺う。

答弁 就学前教育は大変大切なものと考えている。遊びや生活の中で学んで欲しいと考えている。

向田 聡 議員

一問一答方式

1. 雪害対策について
2. 教職員の長時間勤務の問題について
3. 子どもの貧困について



質問 大雪に対する雪害対策は、防災の観点から、防災計画にどのように位置づけられているのか。

答弁 雪害対策については風水害、震災対策とは防災計画の記載の仕方が異なっている。今後どのように整理するのがいいか検討していく。

質問 安来市の中学校教員の時間外勤務は、島根県平均より上回る実態がある。安来市としての今後の対応は。

答弁 部活など教職員の負担が軽減されるよう国や県に環境の改善を要望していきたい。また、安来市としても超過勤務にならないよう業務の改善を進めていきたい。

質問 就学援助を受けている児童生徒の割合が増えているが、子どもの貧困対策はどうなっているのか。

答弁 子どもへの支援も含め、親の就業の安定や自立支援等も併せて総合的な対策に努めている。

佐々木厚子 議員

一問一答方式

1. 安来市立病院新改革プランについて

- ①経営状況について
- ②耐震化について
- ③病院経営に対する今後の決意



2. 子育て支援について

質問 繰出金を病院ばかりに繰入れされたら、安来市の財政が厳しくなるのではないかと。

答弁 改革プランの財政推計はそのまま一般会計の財政計画に反映されるものではない。地方公営企業繰出基準を基本としつつ、決算状況を踏まえ、予算編成の中で対応していく。

質問 耐震化をするかしないか早急に結論を出す時だと思いがどのように考えるか。

答弁 安来市全体の医療提供体制における役割を考慮した上で整備する必要がある、大きな財政負担を伴うことから市民や議会の理解を得ながら慎重に進める必要があると考える。

質問 病院経営等とても厳しい市の財政状況の中、今後市立病院をどのようにしていられるのか。

答弁 最重要課題であると考えている。真剣に取り組んでいく。

永田 巳好 議員

一問一答方式

1. 2017年度（平成29年）予算について

2. 朝夕の交通混雑への対応について



質問 国道9号線の米子市、安来市と県境の陰田の交差点、朝夕の交通混雑について。

答弁 管轄の倉吉河川国道事務所に何うと、平成25年度以降、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえながらモニタリング調査を実施されている。今後も調査を継続し効率的な渋滞対策について議論を行い、渋滞対策の基本方針の検討を進めているとのことである。

質問 毎日この交通ラッシュの中で米子方面に向かっている方に対して、高速道路料金の低減化等についての方策は。

答弁 高速料金問題は大変難しいものがあるが、料金低減化等については検討はしてみたい。

【用語説明】

- ※1 クラスター型コンパクトシティ 各地域に、ブドウの房のように形成された効率的で持続可能な都市のこと。
- ※2 第2次安来市総合計画 安来市のまちづくりの指針となる最上位計画。期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間。
- ※3 アンダーパス 立体交差で、掘り下げ式になっている下の道路。
- ※4 中期財政計画 安来市一般会計の今後5か年の財政計画。
- ※5 経常収支比率 地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的（継続性・安定性）に収入される一般財源（経常一般財源）が、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的（義務的）に支出される経費（経常的経費）にどの程度充当されているかという割合。
- ※6 財政調整基金 経済の不況等による収支減や、災害の発生など不時の支出増加に備え、財源に余裕のあるときに積立を行い、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。
- ※7 公共施設等総合管理計画 市が所有するすべての公共施設を対象として、今後のあり方についての基本的な考えを示すもの。施設総量の適正化や長寿命化、効果的・効率的な施設運営の方針にしたがい、施設類型別に今後の取組について計画したもの。
- ※8 第3次行政改革大綱 安来市での平成27年度から平成31年度までの行政改革の指針。
- ※9 一般財源 財政の使途が特定されず、どのような経費にも使用することができるもの。主には、地方税、地方譲与税、地方交付税等。

- ※10 繰入金 一般会計、特別会計、基金など会計間で一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当される資金。
- ※11 KPI 重要業績評価指標。企業などの組織において、部門等の業績評価を定量的に評価するための指標。達成すべき目標に対し、どれだけの進捗がみられたかを明確にできる指標が選択される。
- ※12 PDCAサイクル 業務を継続的に改善していく手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act、Action（改善）の4段階を繰り返すことによって、継続的に業務改善を行う。
- ※13 ワーキング 会議、作業を行うこと。
- ※14 アトムの広場 島根県が発行している原子力広報誌。
- ※15 ICT 情報・通信に関する技術の総称。
- ※16 IT 情報技術のこと。特にコンピュータの技術に関連した技術。
- ※17 議会基本条例 地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例。
- ※18 通年会期 議会の会期で、条例で定める日から翌年の当該日の前日までとされてものをいう。通年の会期を採用した場合には、基本的に、議会の会期の長さは1年間であり、閉会中の期間はなく、常に議会が活動能力を有し、長等の招集を待たずにいつでも機動的に会議を開くことができる。
- ※19 通年議会 通年の会期を採用している議会。
- ※20 一時不再議 同一会期中に一度議決された事件については、再び審議をしないとの議事運営のこと。
- ※21 専決処分 議会が議決または決定すべき事件について、法定事由に該当する場合及び議会の議決により委任された場合に、長が議会に代わって処分すること。

行政視察報告

議会運営委員会・ 議会基本条例検討委員会

〈視察目的〉

平成18年に北海道の栗山町が制定したのが先駆けとされる「議会基本条例」(※17)は、行政運営を監視する役割を果たすための議会の規範として全国的に制定が広がってきている。また、地方分権が進められる中、現在の社会情勢と地方議会を取り巻く状況は、情報公開や議会の透明性・政策提言・市民参加などを一層進めることが求められている。

安来市議会においても以前から議会改革研究会や議会改革特別委員会で調査研究はされてきた経緯はあるが、昨年の9月20日に議長から議会運営委員会へ条例制定を要請されたことに基づき、同日の議会運営委員会で議会基本条例検討委員会(5名の委員)が正式に設置された。その後、15回にわたる検討委員会と議会運営委員会との合同会議を重ね、議会の役割と責任を果たすための最高規範である「議会基本条例」制定に向けた検討をおこなってきた。

この度の両委員会での合同視察では、「議会基本条例」制定の中でも特に最重要項目となり、導入事例も未だ少数である「通年会期制」(※18)について、

〈視察概要一覧〉

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
2月9日	大阪府枚方市	大阪府枚方市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・通年議会(※19)への取り組みについて ・その他議会改革への取り組み状況について
2月10日	大阪府大阪狭山市	大阪府大阪狭山市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・通年議会への取り組みについて ・その他議会改革への取り組み状況について



枚方市議会

その運営手法、執行部との調整、一時不再議(※20)や専決処分(※21)との関係、運用上のメリットや課題などについて、先行する市議会の状況を調査検証することを目的として今回の行政視察を実施した。

〈考 察〉

【議会運営委員会】

◎ 遠藤 孝 委員長

議会は現在、行政改革の一環として議会基本条例の制定に向けて鋭意検討を重ねているが、中でも通年会期制、あるいは通年議会について導入するか？否か？大いに議論をしている。そのことを踏まえて既に先行して実施している枚方市、大阪狭山市を行政視察した。

通年議会について (1)会期の始期

(2)会議の名称 (3)専決処分のあり方 (4)一事不再議について、その他委員会
の活性化や執行部による反問権の導入によるメリット、デメリット等々つぶさに研修を行った。

結果、導入すべきとの考えに至ったが、是非については今後の委員会討議によるものとする。

【議会基本条例検討委員会】

◎ 嶋田 豊昭 委員長

1. 枚方市

通年議会についての地方自治法改正については早い時期から関係省庁の情報があったので、すんなりといったことであり、平成26年4月1日に条例を施行し、条例第9条の「通年議会」



大阪狭山市議会

の規定については、議会の改選に合わせ平成27年5月1日から施行している。現在安来市議会でも取り組んでいる基本条例に関し、条例の施行と通年会期の実施時期は大変参考になる事例であった。

2. 大阪狭山市

通年議会導入に当たっては、全国に先駆けて実施している四日市市議会を視察して参考にした。会期は議員任期を勘案し、5月から翌年4月までの1年間としている。制定に当たっては、市長も理解があり特に問題はなく、担当から専決処分について一部追加の要望があり、3項目加えた。通年議会にともなう議会の活性化やさらなる議会改革に関する課題は多いが、今後全議員で内容を理解共有し取り組んでいきたい。

議会のうごき

〈平成29年1月1日～3月31日〉

1 月

- 3日 安来市成人式記念式典
- 6日 美保基地賀詞交歓会（境港市）
- 7日 安来商工会議所会館起工式・新年賀会
- 8日 消防出初式
- 10日 安来節唄い初め会
- 13日 囲碁棋聖戦・前夜祭
- 23日 議会基本条例検討委員会
- 27日 市庁舎等建設事業調査特別委員会
- 28日 山陰ケーブルビジョン開局30周年記念式典・祝賀会（松江市）
安来地域ケア推進会議
- 30日 議会運営委員会・議会基本条例検討委員会合同会議
- 31日 議員懇談会
議会運営委員会

2 月

- 1日 全国市議会議長会基地協議会総会（東京都）
- 2日 特別交付税中央要望（東京都）
全国広域連携市議会協議会総会（東京都）
- 8日 北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備に係る要望活動（東京都）
- 9日 全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 9～10日 議会運営委員会・議会基本条例検討委員会
行政視察（大阪府枚方市、大阪狭山市）
- 12日 安田ファーム設立総会
- 13日 議会運営委員会
本会議（臨時会）
議員懇談会
- 18日 近畿安来会創立10周年記念総会・懇親会
（大阪府大阪市）
- 21日 議会基本条例検討委員会
高校総体実行委員会総会
- 22日 議会運営委員会
議会運営委員会・議会基本条例検討委員会合同会議
「竹島の日」記念式典・県民大会（松江市）
- 26日 おおつか宮農組合通常総会
- 28日 ファーム宇賀荘通常総会

3 月

- 1日 議会運営委員会
本会議（3月定例会開会）

- 2日 予算委員会
議員懇談会
- 3日 本会議（会派代表質問等）
- 4日 日本遺産認定記念特別展オープニングセレモニー
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 全員協議会
市庁舎等建設事業調査特別委員会
- 9日 地域振興委員会
総務企画委員会協議会
- 10日 総務企画委員会
- 12日 境港外港竹内南地区貨客船ターミナル着工記念式典（境港市）
- 13日 文教福祉委員会
本会議
- 14日 島根原発対策特別委員会
議会運営委員会・議会基本条例検討委員会合同会議
- 15日 予算委員会
地域振興委員会
- 16日 予算委員会
地域振興委員会
- 17日 中海沿岸振興事業等調査特別委員会
議会改革特別委員会
市庁舎等建設事業調査特別委員会
- 18日 企画展「山崎修二」オープニングセレモニー
- 19日 Bリーグ安来市大会オープニングセレモニー
- 21日 議会運営委員会
本会議
予算委員会
となりのタタラ（主催安来青年会議所）
- 22日 議会運営委員会
本会議（最終日）
議員懇談会
国道432号（仮称）広瀬トンネル貫通式
- 23日 「安来ドジョウ寿司」完成発表会
土地開発公社理事会
- 25日 はくた花開く町学童野球大会開会式
- 26日 安来南消防団拠点施設完成式
- 28日 安来商工会議所通常議員総会
- 30日 C-2輸送機美保基地配備記念行事（境港市）
安来市土地改良区及び能義第2地区基盤整備推進協議会農林水産大臣賞受賞報告会（松江市）

編集後記

今後も開かれた市議会を目指し、より一層の情報発信に努めるとともに、市民のみなさまからのご意見も積極的に伺ってまいります。議会だよりやホームページについても、ご意見・ご感想をお待ちしております。

安来市議会広報委員会

第11回議会報告会を開催します！

安来市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指し、各中学校区単位で、議会報告会を開催しています。

今回は「3月定例会の報告等」と「意見交換」をさせていただきたいと思っております。

市民のみなさんだれでも参加できますので、ぜひお出かけください！

日 時	中学校区	場 所	担当議員（○は班長）
4月26日(水) 午後7時00分～ 8時30分	二 中	宇賀荘交流センター	○嶋田 豊昭、遠藤 孝 井上 峯雄、三島 静夫
	広瀬中	比田交流センター	○作野 幸憲、梅林 守 田淵 秀喜、樋野 智之
	伯太中	赤屋交流センター	○上廻 芳和、金山 満輝 原田貴与子、澤田 秀夫
4月27日(木) 午後7時00分～ 8時30分	一 中	社日交流センター	○石倉 刻夷、田中 武夫 丸山 征司、佐々木厚子
	三 中	荒島交流センター	○佐伯 直行、中島 隆夫 永田 巳好、向田 聡